

中小企業の経営革新と連携組織の活性化を応援する活性化情報誌

Publicity magazine for small and medium-size enterprise

Chushokigyo-chiba

中小企業ちば

2011
No.545

1

主な内容 [目次]

p.3 ■年頭所感
本会会長／千葉県知事／全国中央会会長／商工中金千葉支店長

p.7 ■ご案内
2011年 新たな飛躍にかける創造と挑戦!!
主役は中小企業～中央会が経営をアシストします～

p.8 ■視 点：コンサルタントの目
年齢にかかわらず働くことができる社会の実現

p.10 ■協賛広告
謹賀新年

p.14 ■景 況
情報連絡員報告を中心とした県内の中小企業動向

p.15 ■トピックス・お知らせ
県等へ中小企業支援を要望
「千葉のものづくり」製品・技術展示会の開催について ほか



■バックナンバーを Web 版でご覧になれます。

本誌のバックナンバーをWeb版でご覧になれます。平成14年4月号から中央会のサイトでご覧になれます。ダウンロードもできますのでご活用ください。 URL <http://www.chuokai-chiba.or.jp>

千葉県中小企業団体中央会 会長

坂戸 誠一



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、爽やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の経済情勢を顧みますと、リーマン・ショックにより急激な落ち込みに見舞われた世界経済は、各国の景気対策の効果により回復の動きを強めてまいりました。

とりわけ中国を中心としたアジア経済の復調は著しく、アジア地域の生産はすでにリーマン・ショック時を上回る水準にまで回復したと言われております。

また、日本経済を見ましても、国内需要は雇用不安などによる消費の冷え込みが懸念されましたが、エコカー補助金や省エネ家電のエコポイント付与などの効果により、

個人消費は対前期と比較して増加しており、政策の後押しによりその効果が出はじめ景気回復の兆しが現れておりました。

しかし、米国の追加金融緩和、欧州の金融システムや財政問題への不安が急激な円高から円高基調へと推移し、また、アジアを中心とした海外経済の減速が輸出産業とそれらを支える中小企業に大きな打撃となり、日本経済に再び影を落とすようになってくるなど、今後我々中小企業にどのような係わってくるのか先行きの不透明感を払拭できない状況のまま越年をいたしました。

こうした中であつて、中小企業が今後とも地域経済の屋台骨を担い、その原動力としての使命を果たしていくためには、従来にも増して、情報・技術・人材を含めたソフトな経営資源を充実させ、企業の高い製品やサービスを創出する企業体質をより一層強化していくことが求められております。

しかし、中小企業が自らの力で新たな活路を切り拓いていくためには、個々の経営資源だけでは限界があり、単独で取り組むことは容易なことではありません。

中長期的な戦略をもつて連携ネットワークを構築し、お互いの優れた経営資源を有効に組み合わせ、経営革新や新分野進出など新たな展開を図っていくことが有効な手段として再認識されております。

本会といたしましても、やる気と能力のある中小企業が、組合等連携組織を活用して新たな課題にチャレンジするための支援機関として、引き続き中核的な役割が果たせるよう、決意を新たにしているところでございます。

また、現下の厳しい経済環境を乗り越え、我々中小企業が組織化を通じて中小企業振興を図る意義を唱えることを趣旨として、千葉県中小企業団体中央会では初めて、今年1月7日に千葉市内において「中小企業団体千葉県新春交流会」を開催いたします。

会員の皆様をはじめ関係する多くの皆様方を心よりお迎え申し上げます。

結びに、会員組合の皆様におかれましては、組合組織を中心に一層の団結を強め、この厳しい状況を克服し、さらなるご繁栄を遂げられますよう、心から祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。



千葉県 知事
森田 健作

新年明けましておめでとうござ
 います。

千葉県中小企業団体中央会並
 に会員企業の皆様には、健やかに
 新春をお迎えのことと心からお慶
 び申し上げます。

千葉県は、成田空港、東京湾ア
 クアライン、圏央道など、首都圏
 の主要な交通アクセスを担い、全
 国屈指の農林水産業や商工業、風
 光明媚な自然など、多くのポテン
 シヤルを有している県です。

特に、アクアラインについては、
 料金引下げの社会実験を開始して
 から1年5か月が経過し、この間、
 交通量は社会実験開始前の1.5倍
 と順調に伸びており、利用者の9
 割の方が、現在の利用料金の継続
 を希望しています。

アクアラインは首都圏の大動脈
 であり、その料金の行方は、千葉
 県だけでなく、首都圏全体に大き
 な影響があります。そのため、九
 都府市首脳会議や関東地方知事会
 議において、国策による恒久的な
 料金引下げについて、全会一致で決
 議するとともに、全国知事会議に
 おいても、国に対して、要望を行っ
 たところです。

私は今後とも、首都圏経済に大
 きな成果が出るよう、経済団体の
 皆様と料金引下げに対する熱い思
 いを共有し、「チームスピリット」を
 発揮して、取り組んでまいります。

また、成田空港の年間発着枠
 30万回への容量拡大については、
 地元の皆様の御理解を得て、順次
 発着枠が拡大し、早ければ2014
 年度にも30万回が実現することに
 なります。県としては、環境対策
 の一層の充実に努めるとともに、成
 田空港の更なる機能強化と利便性
 向上等を目指したいと考えており
 ます。

成田空港の強みは全世界93都市
 を結ぶ豊富でバランスのとれた国
 際線ネットワークですが、今後ま
 すます充実し、国内線の増強も可
 能となりますので、より便利に、

全国各地から直接世界に繋がるよ
 うになると期待しています。

一方、県内の経済・雇用情勢は、
 依然として厳しい状況が続いてい
 ます。国では昨年11月末に4兆85百
 億円に上る補正予算を成立させた
 ところですが、県としても「千葉
 県総合経済対策」に基づき、国と
 呼応する形でより一層、経済対策
 に取り組んでまいります。

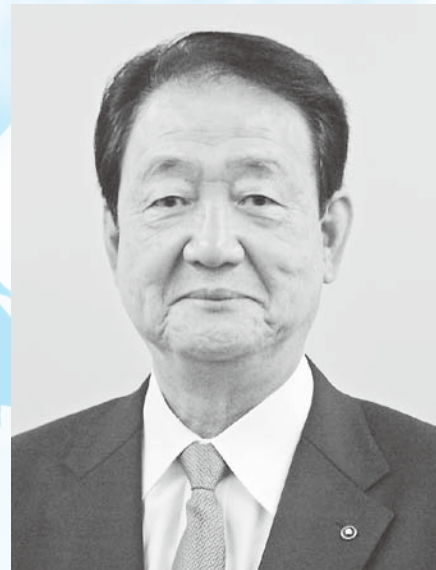
また、「中小企業の元気が千葉県
 の元気」を旗印に、県の中小企業
 支援施策の基本的な方向を定めた
 「ちば中小企業元気戦略」について
 も、昨年3月に策定した県の総合
 計画「輝け！ちば元気プラン」に
 基づき、現在見直し作業を進めて
 います。中小企業の皆様と手を携
 え、県内経済の活性化を強力に進
 めていくための戦略を策定したい
 と考えています。

私も「くらし満足度日本一」の
 千葉県を目指して、全力で県政運
 営に取り組む所存です。

終わりに、本年が、皆様にとって、
 希望に満ちた年となることを心か
 ら祈念申し上げ、新年のあいさつ
 といたします。

全国中小企業団体中央会 会長

鶴田 欣也



平成23年の新春を迎え、お慶びを申し上げます。

新たな年を迎えるにあたり、全国の中小企業の皆様並びに組合等中小企業連携組織関係の皆様にご挨拶を申し上げます。

全国中央会の会長職を引き継ぎ、1年半が経過しました。この間、ブロック中央会会長会議や各中央会の創立55周年記念式典には可能な限り出席し、会長をはじめ各地の中央会役職員の皆様との対話に努めて参りました。また、昨年7月には、本会の初めての試みとして中小企業庁をはじめ関係各位のご協力をいただき、「中小企業団体夏期トップセミナー」を開催できましたことは、望外の幸せでありました。本セミナーを継続・発展させ、さらにトップ同士の対話等

を通じて「開かれた中央会」を実現し、組合をはじめとする連携組織の発展に全力をあげて参る所存であります。

昨年を振り返りますと、平成7年以來の円高、レアアースに代表される資源高、食糧をはじめとする各種原材料価格の上昇、中国リスクの再認識などの外的要因に加え、エコカー補助金の終了による内需の反動減などにより、再び中小企業の景況は先行き警戒が必要となる厳しい状況に到り、新たな年を迎えることとなりました。

わが国は、「新成長戦略」や「国内投資促進プログラム」を確実に実行することによって、中小企業自らが環境・エネルギー技術の高度化、健康・医療・介護サービスの高付加価値化、海外市場への販路開拓等に積極的に取り組むことによつて、新たな需要を生み出し、一刻も早くこのデフレから脱却しなければなりません。

政府は、昨年6月に「中小企業憲章」を閣議決定し、新たに中小企業政策の基本方針を定め、「中小企業組合、業種間連携などの取組を支援し、力の発揮を増幅する」ことを基本原則の一つとして位置付けました。中小企業は、新たな

成長分野や地域活力の再生に向けて果敢に挑戦し、雇用の創出に努めるとともに、持てる力を組合等連携組織に結集し、社会的役割を果たしていくことが期待されています。何と言つても、我が国の産業、雇用、生活を支えているのは、中小企業であります。国の礎たる中小企業がしっかり立ち上がっていくことが、今の我が国にとって何よりも大切なことでもあります。

今年は、大企業の海外進出やTPPへの参加に向けた動きが加速化するなどグローバル化という新たな大波が押し寄せてくることでしょう。全国中央会も創立55周年を迎える節目の年となります。また、全国大会は私の地元である愛知県で開催されます。積極的に中小企業の声をお聞きし、その意見を政府首脳に届け、中小企業振興の強化を訴えて参ります。今年こそは、組合等連携組織に結集した多くの関係者から、新たな成長の動きを実感できたという声が聞かれる年となりますよう、粉骨砕身努力することをお誓い申し上げますとともに、皆様のご多幸をご祈念申し上げます。私の年頭のご挨拶と致します。

株式会社 商工組合中央金庫
千葉支店長

石黒 真史



平成23年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、昨年平成22年の経済を振り返りますと、欧米など先進国の回復が総じて緩やかであったのに対し、中国などの新興国では比較的高い成長が続き、わが国も前半を中心に緩やかに回復しました。その後、急激な円高の進行もあり、輸出が弱含みとなったことに加え、エコカー補助金の期限に係る駆け込み需要に対する反動もあつて、年末にかけて景気は減速感を強め、一進一退の推移となりました。

中小企業の景況を当金庫の「中小企業月次景況観測」でみると、景況判断指数は経済危機後の平成21年1月に過去最低値（24・8）

を記録した後は昨年前半まで上昇基調にあり、景況感に持ち直しの兆しが見られました。しかし、8月（48・4）以降は景況判断指数が下落に転じ、売上高は対前年比の増加幅が縮小するなど先行き不透明感が強まりました。

このような環境のもと、商工中金はセーフティネット機能の発揮を最重要事項とし、法定された指定金融機関として危機対応業務を中心にその機能発揮に全力をあげて取り組んでまいりました。制度開始以降の危機対応業務の累計実績は平成22年11月末時点で5万8千件、3兆9千億円を超える規模となり、中小企業の資金繰りや経営の安定化への支援を通じて、地域の雇用維持・経済の安定化に大きく貢献することができました。また、「中小企業金融の円滑化」を目的とした金融機関として、その使命・役割を的確に発揮していくため、新たに創設した成長戦略総合支援プログラムを活用するなど、中小企業の持続的成長（＝中小企業の皆さまの企業価値向上）に向けて全力でサポートしてまいりました。

本年も先行き不透明な金融・経

済環境が続くことが予想されますが、商工中金としましては、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、危機対応業務を中心にセーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、お取引先の皆さまが抱える経営課題に対してはその解決に向け、質の高いソリューションを提供するなど、皆さまと一緒にこの難しい局面を克服し、ともに成長してまいりたいと思います。

「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

■ ご案内

2011年 新たな飛躍にける創造と挑戦！！

主役は中小企業～中央会が経営をアシストします～

中央会とは～中央会は企業連携をサポートする団体です～

中小企業団体中央会は、中小企業団体の組織に関する法律により、昭和31年に中小企業の組合等を会員として設立された団体で、公益性の高い特別認可法人です。

また、国や千葉県の中小企業担当部課と十分連絡をとりながら事業をすすめております。

■ 中小企業連携の効果

実施する共同事業の種類、内容などによって、組合を作ったことによる効果は異なりますが、

- 生産性の向上、取引条件の改善、販売促進、資金調達の円滑化、情報・技術・人材・マーケティング等ソフトな経営ノウハウの充実等により経営の近代化・合理化を図ることができます。
- 業界のルールの確立、秩序の維持ができ、メンバー企業の経営安定と業界全体の改善発達を図ることができます。
- 中小企業者の個々の声を組合でまとめることにより、その意見や要望事項を中小企業施策に反映させることができ、多くの中小企業施策を利用する事が出来ること等が主なものです。

■ 新たな飛躍を期して（組合事業の内容と組合員のメリット）

① 工業・建設業関係

| 事業名 | 事業内容 | 組合員のメリット |
|---------|---|-----------------------------|
| 共同生産・加工 | 組合で高額・最新鋭の設備を導入、組合員がその設備で生産・加工を行う。 | コスト引下げ、規格の統一、品質の向上 |
| 共同購買 | 資材等をまとめて購入し、それを組合員に提供する。 | 仕入先との交渉力強化、仕入価格の引下げ、取引条件の改善 |
| 共同受注 | 組合が注文を受け、これを組合員が施行・製造し納品する。 | 大口発注者の開拓、拡張や取引条件の改善 |
| 共同広告・宣伝 | チラシや広告を共同で掲載する。ホームページを共同で制作運営する。 | 制作・運営コストの低減 |
| 市場開拓 | 組合員の製品や取引商品などの販促を拡大する。共同市場調査、展示会、HPを作成する。 | 新市場の開拓と共同の営業活動 |
| 情報化 | 組合、組合員の情報課や外部（取引先、外部機関等）とのネットワークを形成する。 | 取引の円滑化、合理化、効率化、情報の迅速化 |

② 商業・サービス業関係

| 事業名 | 事業内容 | 組合員のメリット |
|------------|----------------------------------|-------------------------|
| 環境整備 | 街路・歩道の整備、アーケード、駐車場等の施設を設置する。 | 商店街の統一感、一体感、利便性、安全性 |
| 個店のファサード整備 | 街並みや統一感を演出する。 | 景観の統一、店舗の近代化 |
| 共同売出し・イベント | 組合がセールを主催し、併せてイベントや抽選会等を行う。 | 来街者の促進、売上の増加 |
| スタンプ・商品券発行 | 組合が第三者発行型のスタンプや商品券の発行を行う。 | 顧客の固定化、客単価のアップ、サービスツール等 |
| 共同広告・宣伝 | チラシや広告を共同で掲載する。ホームページを共同で制作運営する。 | 制作・運営コストの低減 |
| 一店逸品運動 | 組合員の新品作り支援を行う。逸品研究会、フェア等を開催する。 | 自店の商品構成の見直しや創造力を強化 |
| 連鎖化 | 組合員が共通の名称を使用するなどのチェーン展開を行う。 | 他店との差別化、経営の改善 |

■ 中央会の支援

千葉県中小企業団体中央会では、こんなことをしています。

組合等の設立・運営に関する相談・支援

中小企業の経営革新・IT化・金融・労務・
経理税務・法律等の相談

各種研修会・講習会の開催
活性化研究会など助成事業への支援

官公需受注の促進

中小企業組合士制度の普及・促進

組合青年部・女性部等の育成強化

中小企業振興対策の建議・陳情

各種共済制度の普及・啓発

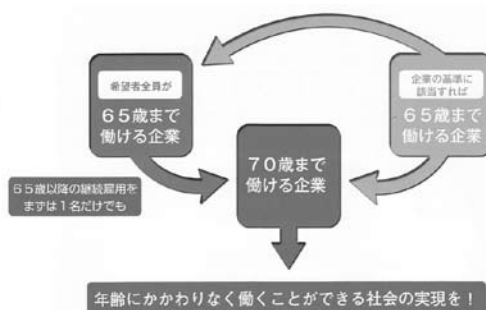
「インクルーシブ」の目

年齢にかかわらず働くことができる社会の実現

年金の支給開始年齢引き上げを受け（平成25年4月から65歳）、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」で、企業に「定年の廃止」や「定年引き上げ」、「継続雇用制度の導入」の、いずれかの措置（高年齢者雇用確保措置）を講じるよう義務付け、平成18年4月より65歳まで企業各社が取組みを開始、その後「70歳まで働ける企業の実現」、更には「年齢にかかわらず働けることができる社会の実現を目指して」と矢継ぎ早に、今後の目指す方向が変化している。（図1）

雇用確保措置の実施状況

高年齢者を65歳まで雇用するための「高年齢者雇用確保措置」の実施状況など、平成22年「高年齢者の雇用状況」（6月1日現在）の現状把握を参考に、「70歳雇用を経て、年齢にかかわらず働くことができる社会の実現」の経過について考える。



（図1）高年齢者雇用の今後の方向

の上昇）となっている。大企業のほとんどが雇用確保措置を実施している。また、中小企業では特に、31～50人規模企業での実施割合の上昇が顕著である。

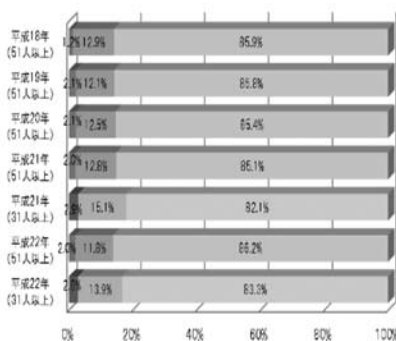
雇用確保措置の上限年齢

雇用確保措置の上限年齢について現在の義務年齢である64歳を上限年齢としている企業は10・1%、法の義務化スケジュールより前倒しして65歳以上を上限年齢としている企業（定年の定めのない企業を含む）は89・9%となっている。

雇用確保措置の内訳

雇用確保措置の実施済企業のうち、「定年の定め廃止」により雇用確保措置を講じている企業は28%（同0.1ポイントの低下）、「定年の引上げ」により雇用確保措置を講じている企業は13・9%（同1.2ポイントの低下）、「継続雇用制度の導入」により雇用確保措置を

講じている企業は83・3%（同1.2ポイントの上昇）となっており、定年制度により雇用確保措置を講じるよりも、継続雇用制度により雇用確保措置を講じる企業の比率が増している。（図2）



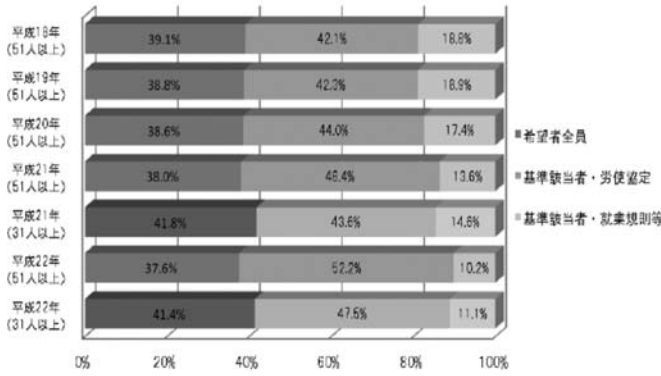
（図2）雇用確保措置の内訳

継続雇用制度の内訳

「継続雇用制度の導入」により雇用確保措置を講じている企業のうち、希望者全員を対象とする制度

希望者全員が65歳以上まで働ける企業の割合は46・2%（同16ポ

希望者全員が65歳以上まで働ける企業の状況

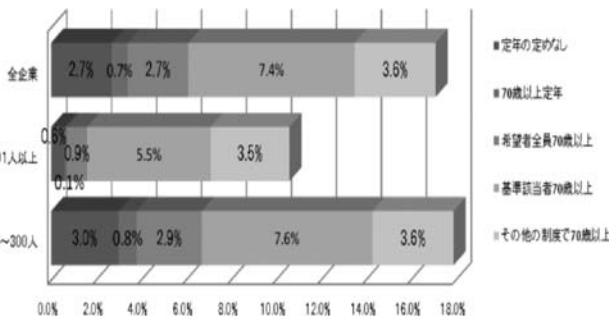


(図3) 継続雇用制度の内訳

を導入している企業は41・4%（同0.4ポイントの低下）、対象者となる高齢者に係る基準を労使協定で定めた制度を導入している企業は47・5%（同3.9ポイントの上昇）、法に基づく特例措置による基準に基づく制度を導入している企業は11・1%（同3.5ポイントの低下）となっている（図3）。

企業規模別に見ると、中小企業では17・9%（同0.9ポイント上昇）、大企業では10・4%（同0.4ポイン

70歳まで働ける企業



(図4) 70歳まで働ける企業

「70歳まで働ける企業」の割合は17・1%（同0.8ポイントの上昇）となっている。

「70歳まで働ける企業」の状況

イントの上昇）となっている。企業規模別に見ると、中小企業では48・8%（同1.8ポイント上昇）、大企業では24・0%（同0.5ポイント上昇）となっており、特に中小企業での取組が進んでいる。

60歳代前半の雇用確保を図るため、希望者全員が65歳以上まで働ける制度の導入に取り組み、今後団塊の世代が60歳前半にさしかかり、厚生年金の定額部分の支給開始年齢が引き上げられる時期に当たり、65歳までの安定的な雇用は当然である。また65歳までの雇用確保を基盤として「70歳まで働ける企業」の普及・啓発を行い、

希望者全員が65歳以上70歳まで働ける企業の普及

31人以上規模企業における60歳以上の常用労働者数は177万人（同13・9%増加）。51人以上規模の企業では、雇用確保措置の義務化前（平成17年）と比較すると、78万4千人から162万人に増加（107・0%の増加）している。31人以上規模企業における65歳以上の常用労働者数は65万7千人（同8.5%増加）。51人以上規模の企業では、雇用確保措置の義務化前（平成17年）と比較すると、26万5千人から59万3千人に増加（123・4%の増加）と、高齢労働者は引き続き増加傾向にある。

雇用確保措置の義務化後の高齢労働者の動向

更に「年齢にかかわらず働くことのできる社会を実現」するため企業は積極的に取り組む必要がある。更に「年齢にかかわらず働くことのできる社会」のメリット

更に「年齢にかかわらず働くことのできる社会を実現」するため企業は積極的に取り組む必要がある。更に「年齢にかかわらず働くことのできる社会」のメリット

更に「年齢にかかわらず働くことのできる社会を実現」するため企業は積極的に取り組む必要がある。

「年齢にかかわらず働くことのできる社会」のメリット

これからの企業経営には、高齢者の高い就業意欲と、これまで培ってきた技能、技術、ノウハウ、人脈を有効活用していく人材戦略が求められる。

また、働く意欲と能力を活かしていきたいと働くことのできる社会は、高齢者が健康的で豊かな高齢期を送る手助けとなる。

更に、高齢者が働くことを通じて、健康な生活を送り、支えられ側から支える側になることができれば現役世代や企業の負担は緩和される。

今、「生物多様性」維持が話題になっている。人も生物の一員として少子高齢化等を真剣に考え、「年齢にかかわらず働くことのできる社会」を目指し、健康で長生きをして、細やかでも「種の保存」につとめるべきではないだろうか。

【資料】厚生労働省 平成22年「高齢者の雇用状況」集計結果他
（中小企業診断士 布施光義）

「年齢にかかわらず働くことのできる社会」のメリット

これからの企業経営には、高齢者の高い就業意欲と、これまで培ってきた技能、技術、ノウハウ、人脈を有効活用していく人材戦略が求められる。

また、働く意欲と能力を活かしていきたいと働くことのできる社会は、高齢者が健康的で豊かな高齢期を送る手助けとなる。

更に、高齢者が働くことを通じて、健康な生活を送り、支えられ側から支える側になることができれば現役世代や企業の負担は緩和される。

今、「生物多様性」維持が話題になっている。人も生物の一員として少子高齢化等を真剣に考え、「年齢にかかわらず働くことのできる社会」を目指し、健康で長生きをして、細やかでも「種の保存」につとめるべきではないだろうか。

【資料】厚生労働省 平成22年「高齢者の雇用状況」集計結果他
（中小企業診断士 布施光義）

更に「年齢にかかわらず働くことのできる社会を実現」するため企業は積極的に取り組む必要がある。

| | | | | |
|--------------------------------------|--|---|---|--|
| <p>千葉県醤油工業（協） 代表理事 太田 昭吉</p> | <p>千葉県石油（協） 理事長 堀江 亮介</p> | <p>関東自動車共済（協） 代表理事 小長谷政幸</p> | <p>千葉県農業機械商業（協） 代表理事 小関 邦夫</p> | <p>千葉県製麺工業（協） 代表理事 佐藤 一郎</p> |
| <p>千葉県遊技業（協） 代表理事 大城 正準</p> | <p>千葉県自転車軽自動車商（協） 代表理事 古川 博章</p> | <p>千葉総合卸商業団地（協） 代表理事 石田 一太郎</p> | <p>千葉県コンクリート製品（協） 理事長 池田喜美夫</p> | <p>千葉県印章（協） 代表理事 宮崎 勝治</p> |
| <p>千葉船業（協） 代表理事 田原 安</p> | <p>千葉県生コンクリート工業組合 代表理事 鈴木 実</p> | <p>千葉化学工業薬品（協） 代表理事 岡田 隆治</p> | <p>（協）千葉電設協会 代表理事 田中 宏幸</p> | <p>千葉県産業廃棄物処理業（協） 代表理事 岡林 聰</p> |
| <p>（協）千葉県鐵骨工業会 代表理事 古橋 久</p> | <p>千葉県セメント卸（協） 代表理事 矢島 一郎</p> | <p>千葉県建設防水工事業（協） 代表理事 鹿島清太郎</p> | <p>千葉県測量設計補償（協） 代表理事 中嶋 敏夫</p> | <p>千葉市廃棄物リサイクル事業（協） 代表理事 飯田 俊夫</p> |

■ 謹賀新年

| | | | | |
|---|--|--|---|--|
| <p>千葉鉄工業団地 (協) 代表理事</p> <p>坂戸 誠一</p> | <p>千葉市工業センター (協) 代表理事</p> <p>柿本 幹夫</p> | <p>(協) 千葉個人タクシー事業団 代表理事</p> <p>岡田 弘光</p> | <p>千葉県板硝子商工 (協) 代表理事</p> <p>小林 春巳</p> | <p>千葉トヨベット整備工業 (協) 代表理事</p> <p>勝又 隆一</p> |
| <p>千葉青果商業 (協) 代表理事</p> <p>上野 宏幸</p> | <p>千葉県貿易 (協) 代表理事</p> <p>横山 吉雄</p> | <p>(協) シー・ソフトウェア 代表理事</p> <p>田中 慎吾</p> | <p>千葉中央生コンクリート (協) 理事長</p> <p>柴田 文成</p> | <p>(協) 千葉設備協会 代表理事</p> <p>池田 潔</p> |
| <p>千葉県解体工事業 (協) 代表理事 (理事・監事一同)</p> <p>柴田 哲男</p> | <p>(協) シー・ティー・ティー 代表理事</p> <p>青沼 彰</p> | <p>市原市管工事 (協) 代表理事</p> <p>根元 精一</p> | <p>送変電機器千葉 (協) 代表理事</p> <p>菊池 康文</p> | <p>千葉県保険流通 (協) 代表理事</p> <p>矢部 元茂</p> |
| <p>市川ストアサークル (協) 代表理事</p> <p>原 一郎</p> | <p>船橋機械金属工業 (協) 代表理事</p> <p>板谷 直正</p> | <p>船新青果小売商業 (協) 代表理事</p> <p>藁 國夫</p> | <p>船橋総合卸商業団地 (協) 代表理事</p> <p>飯ヶ谷岐美夫</p> | <p>千葉学習塾 (協) 代表理事</p> <p>長谷川洋男</p> |

| | | | | |
|--|--|---|--|---------------------------------------|
| <p>ふなばしインタックス (協) 代表理事 篠原 敬治</p> | <p>松戸ビル管理業 (協) 代表理事 山下 勉</p> | <p>野田市再資源化事業 (協) 代表理事 西村 久行</p> | <p>柏駅前第一商業 (協) 代表理事 三好 迪夫</p> | <p>柏市管工事 (協) 代表理事 青山 貞夫</p> |
| <p>柏市工業団地 (協) 代表理事 藤井 秀美</p> | <p>流山トラック事業 (協) 代表理事 伊ヶ谷武雄</p> | <p>流山工業団地 (協) 代表理事 高橋 啓治</p> | <p>浦安建設 (協) 代表理事 鹿野新一郎</p> | <p>浦安市書店 (協) 代表理事 小林 栄喜</p> |
| <p>浦安貝類加工 (協) 代表理事 泉澤 正博</p> | <p>浦安市リサイクル資源 (協) 代表理事 醍醐 辰雄</p> | <p>印旛食肉センター事業 (協) 代表理事 小川 進</p> | <p>臼井ショッピングセンター (協) 代表理事 野口 恭義</p> | <p>四街道工業団地 (協) 代表理事 清水 敬陽</p> |
| <p>(協) 酒々井ショッピングセンター 代表理事 細谷 篤</p> | <p>(協) 佐原信販 代表理事 鈴木 重夫</p> | <p>千葉県木材市場 (協) 代表理事 吉岡 實</p> | <p>(協) 東金ショッピングセンター 代表理事 中村 秀朗</p> | <p>山武管工事業 (協) 代表理事 加藤 洋三</p> |

■ 謹賀新年

| | | | | |
|--|--|--|---|---------------------------------------|
| <p>千葉県漬物工業(協) 代表理事 古宮 真一</p> | <p>金田魚介類仲買(協) 代表理事 齋藤 剛一</p> | <p>大原中央商店街(協) 代表理事 土屋 利夫</p> | <p>長生都市管工事(協) 代表理事 小関 正幸</p> | <p>東金市ガス工事業(協) 代表理事 鈴木 寿郎</p> |
| <p>千葉県印刷工業組合 代表理事 日暮 秀一</p> | <p>千葉県電機商業組合 代表理事 佐々木 義</p> | <p>柏市廃棄物処理業(協業) 代表理事 鈴木 隆</p> | <p>千葉県建設業(協)連合会 代表理事 石井 良典</p> | <p>小湊旅館業(協) 代表理事 稲葉 靖</p> |
| <p>(社)千葉県エルピーガス協会 会長 小野口 壽一</p> | <p>(振興)柏二番街商店会 代表理事 石戸新一郎</p> | <p>千葉県中古自動車販売商工組合 代表理事 北島 久男</p> | <p>千葉県鍍金工業組合 代表理事 柴崎 三郎</p> | <p>千葉県牛乳商業組合 代表理事 高橋 束</p> |
| <p>千葉県中小企業団体青年中央会 代表幹事 山口 真延</p> | <p>千葉県中小企業福利厚生協議会 会長 柴崎 三郎</p> | <p>千葉県異業種交流融合化協議会 会長 本田 周</p> | <p>千葉県官公需適格組合 受注促進協議会会長 鹿野新一郎</p> | <p>千葉県自動車販売店協会 会長 麻生 茂</p> |

情報連絡員報告を中心とした
県内の中小企業動向
11月

■漬物製造 【県下全域】

政治、経済等、明るいニュースがなく、消費の低迷が続いている。そのため、相変わらず厳しい状況。

■豆腐製造 【県下全域】

先月から、大手との取引も順調に進み、例年売上が増加する冬期に向けて良い軌道に乗っている。

■めん類製造 【県下全域】

販売促進の一環として、年越しそば、年明けうどんに続き、今年から「年の瀬ラーメン」を全国的に認知展開を図ることになった。

■牛乳小売 【県下全域】

市場全体が悪く、各量販店、スーパーでは安売りに走っている。牛乳離れによる廃業が目立つ。

■製材 【県下全域】

悪い状況は変わらないが、エコポイント等の政策により、今後に期待がもてる。

■印刷 【県下全域】

11月の売上高は10月と比較し、各社若干マイナスの模様。

■生コン製造 【県下全域】

全体的に、設備投資等は未だ横

這い状況だが、設備投資（民間）等上期より具体的に物件名もでてきており、少しずつだが上昇傾向。

■電気鍍金 【千葉】

月の始め少し上向いたが見えたが、落込の度合いは早い。年末に入り、この先どうなるの不安。

■鉄工業 【千葉】

これまでは、徐々に回復傾向が続いているとの感触であったが、直近に至り停滞感も漂い、景気の踊り場の雰囲気支配的になってきていることが気掛かり。

■機械部品製造 【野田】

昨年より厳しく、一段と深刻さを増している。建設、機械加工、IT基盤関係は受注減で特に厳しい。

■機械部品製造 【流山】

業種によってまちまちであることに変化がなく、安定した発注が続かない状況にも変化がない。円高状況が続きすぎる。業態によってはこのままでは危険な状態になってしまつ。

■採石業 【県下全域】

南本牧のコンテナ埠頭の埋立工事の用土に産業発生土を予定したが、納入見込みが立たないために、千葉県産の山砂やズリの需要が見込まれてきている。また、築

地市場の移転先の晴海の埋立て用の資材として、千葉県産の資材の汎用が見込めるなど、多少の兆しが見えてきている。

■採石業 【県下全域】

公共事業投資がなく、骨材需要が減少し、各企業は事業運営に苦慮している。

■総合卸売 【千葉県・東京都】

ごく一部に販売価格上昇の業種もあるが、総じてデフレ状態は変わらない。電材・建築資材・事務機器・設備投資未だ低調で、受注等年度内回復の見込み立たない。

■建築材料卸売 【県下全域】

デフレ、売上減、収益減、一部の政策枠入れ部分以外は、先行きメド立たず。一部民需が出てきており、10・11月と前年落込み率が小さくなり、小康状態を保っているが、これも一過性のものであり、官需の息切れが必至で、再び落込むことは避けられない。

■小売 【柏】

気温の低下とともに、冬物衣料品に動きがあるものの、価格の高いものは売れていない。量販店では既に冬物の一部を値下げしており、収益は悪い。

■電気機器小売 【県下全域】

12月よりエコポイントが半減することにになり、エコポイント特需で業界あげて大変な好況になった。

■青果小売 【千葉市】

4ヶ月連続の高値となり（相場）資金面では落ち着いてきた。しかし、数量的には例年並みの動きはなく、実際には減収傾向。このまま高値相場が続くと冷凍食品にシフトされかねない。

■中古車仕入・販売 【県下全域】

直販低迷ムード広がる外的要因さらに悪化。深刻なタマ不足も響く。

■小売 【東金】

一時、冬らしくなつて衣料品関係の動きがあったが、後半は、近隣競合はまだこの時期なのに価格を下げてセールが始まっている。食品関係は、農作物が不作で価格が上昇したため、今一だった。

■印鑑小売 【県下全域】

事業所などの減少や、少子高齢化等による、市場の縮小とデフレ化が業界全体の姿。

■小売・サービス 【柏】

底で低迷している事業所が大多数のようだ。

■建設揚重 【県下全域】

少し動きは出ているが、低価格

が続いている状況。

■害虫防除 【県下全域】

不景気・猛暑のため、蜂駆除が減少した。外来種の依頼が増加。

■一般廃棄物処理 【千葉市】

昨年11月は、景気はかなり落ち込んだ状況だったが、本年は家電リサイクルのエコポイントの関係もあり、昨年と比べると大幅アップ、先月と比べると若干好転の状況。

■土木建築サービス 【県下全域】

事業量は本年度も減少し厳しい状況は変わらない。5年に一度実施される交通情勢調査委託が県より発注され、やや受注が増加した。

■ソフトウエア 【県下全域】

依然として厳しい環境である。組合の事業活動として、11月9日に設立20周年記念を実施。

■建設業 【県下全域】

建設業における雇用等の実態調査によると、若年者の雇用確保が難しいことがわかった。

■貨物運送 【野田】

取引高は前年、前月と比較していずれも横這いとなり、年末へ向かつての慌ただしさのせいかな不満感を感じる。

■輸出入業 【県下全域】

11月は前月比、前年同月比も減少。

トピックス・お知らせ

県等へ中小企業支援を要望

坂戸誠一会長は、昨年12月16日、石井俊昭千葉県商工会議所連合会会長、末吉一夫千葉県商工会連合会会長とともに千葉県庁を訪れ、森田健作知事に対して、①早期の自律的な景気回復に向けた着実かつ機動的な景気対策、②小規模事業経営支援事業予算並びに中小企業連携組織対策事業予算の十分かつ安定的な確保、③中小企業対策としての金融支援の維持、④地方幹線道路をはじめとする社会資本の整備の前倒し、⑤生活の場としてのコンパクトで賑わい溢れるまちづくりとコミュニティの維持・再生、⑥観光振興、農工商等連携事業など地域資源を活用した地域の中小企業の取り組みに対する支援の強化を求める要望書を提出した。

また、同日同3団体に千葉県商店街振興組合連合会（石戸新一郎会長）と千葉県商店街連合会（畔高敦司会長）の商工5団体で、民主党はじめ各政党の県内選出の衆議院議員に対し、①円高対策と補正予算の速やかな執行、②成長重視の平成23年度予算編成と新成長

戦略の本格実施、③小規模事業対策予算および連携組織対策事業予算の確保、④生活の場としての地方活力の再生、⑤中小企業の基盤強化に資する重要課題への対応を求める要望書を提出した。

全国商店街交流フェア

（主催）株式会社全国商店街支援センター

「商店街の元気は、日本の元気！基調講演や交流会、元気な商店街の発展ブースなど、商店街活性化につながる催しがいっぱい」

商店街と商店街がもっと気軽に交流し、コミュニケーションを深めれば、新しい元気なチカラが生まれます。このイベントは、商店街関係者による情報・意見の交換活性化ノウハウを学ぶための大切な機会です。会員組合におかれましては、この機会にぜひご参加いただき、ネットワークをひろげ、商店街の明日の活性化につなげて下さい。

【日時】平成23年2月2日（水）13時～、交流会17時～18時【場所】アキバ・スクエア（東京都千代田区神田4-14-1 秋葉原UDX）
【定員】400名（申込多数の場合）は先着順／入場無料

◎お問合せは、全国商店街交流フェア事務局まで（TEL 03-55608-1017）

「千葉のものづくり」製品・技術展示会の開催について

「千葉が誇る「ものづくり」の素晴らしさ！」紹介します

県内ものづくり中小企業の優れた製品・技術を一同に集め、県内ものづくり産業に関して広く情報発信するとともに、出展企業の販路開拓を支援することを目的に、来年2月4日（金）から13日（日）まで、「千葉のものづくり」製品・技術展示会を県立現代産業科学館で開催します。

ものづくり中小企業に関する展示・紹介をメインにした展示会を県が開催するのは、今回が初めてとなります。

【開催期間】平成23年2月4日（金）～2月13日（日）／午前9時～午後4時30分まで※2月7日（月）は休館日【場所】千葉県立現代産業科学館 1階企画展示室（市川市鬼高1-1-3）
【プログラム】★来て！見て！さわって！千葉のものづくり（出展予定企業30社以上）▽「千葉もの

2023.2.7（水）

賃金・退職金セミナー

経済の国際化に伴う競争の激化、情報通信技術の急速な進展、労働力人口の中高齢化等、企業を取り巻く環境の変化は、従来の賃金・退職金制度の維持を困難にさせてきています。

こうした状況を踏まえ、千葉労働局では、管内企業の賃金・退職金制度の整備・改善を援助することを目的として、本年度も下記のとおり「賃金・退職金セミナー」を開催いたします。

組合構成員企業の事業主、人事・労務担当者の皆さまにおかれましては、この機会に、「賃金・退職金問題」を考える一助として是非ご活用下さい。

【日時】平成23年2月4日（金）14時～17時【場所】ホテルプラザ菜の花（千葉市中央区長洲1-8-1）
【対象】事業主・人事・労務担当者等100名迄（参加無料）
◎お申込み、その他詳細については、千葉労働局労働基準部賃金室まで（TEL 043-221-2300）